

発言通告表（一般質問）

令和4年2月定例会

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
10	鈴木 幸司（12）	<p>1. 市立高校は富士市の宝、ローカルとグローバルの視点から少子高齢社会の到来とともに、高等学校が生徒を集めるのに苦勞するようになった。平成26年の高等学校等就学支援金の支給に関する法律の施行以降、いわゆる高校無償化以降、公立高校はその存在意義すら問われる時代となりつつある。</p> <p>静岡県内の公立高は2月17日に2022年度入学者選抜の願書受付を締め切り、その志願倍率を公表した。県のまとめによると、全日制92校163科の志願倍率は1.02倍。募集定員1万8874人に対する志願者数は1万9289人で、前年度から421人増えている。富士市が設置する富士市立高校のビジネス探究科、スポーツ探究科、総合探究科の志願倍率はそれぞれ0.88倍、1.03倍、0.95倍となった。</p> <p>（株）リクルートの「高校生と保護者の進路に対する意識調査2021」によると、高校卒業後、さらに上の学校への進学を希望する生徒の割合が84%を超えており、ビジネス探究科の志願倍率は昨年の0.65倍から回復傾向を見せているものの、職業系の学科は普通科に比べ苦戦を強いられている。</p> <p>しかし、富士市立高校の卒業生の特徴は、故郷、富士市への回帰率・定着率の高さにあり、人口減少問題を解決する上で、その意味は大きい。</p> <p>昨年、レバンテフジ静岡の二戸代表と話した折、地方の活性化は移住だけでは無理であり、地域の人育てを行う必要性があると説く人物の話聞いた。シリコンバレーを中心とする多彩なネットワークを活用し「アスリート・デュアルキャリアプログラム2020」を展開する榎本博之氏だ。かつて、文部科学省の次世代アントレプレナー（起業家）育成事業（EDGE-NEXT）の一環で、静岡大学において講演した際の彼と議論し、若いうちから海外に目を向ける必要性を痛感させられた。</p> <p>文部科学省は2017年以降、世界トップレベルのベンチャーの育成、我が国のIPO（Initial Public Offering：新規上場株式）を増やすといった目標を掲げているが、そんな雲をつかむような話よりもむしろ、草の根的な、どこでも、誰でもできるアントレプレナーシップ教育モデルを構築しなければ、起業・創業の地方への横展開は起こらない。グローバルな視点を持ち、ローカルに起業する。そのためには、課題の発見・設定と解決の方法、ネットワーク・つながりとその創出スキルが重要だとする「商業高校におけるアントレプレナーシップ教育の分析視座」（高見啓一、2021年）という研究発表もある。</p> <p>富士市への回帰率の高い市立高校の学生にこそ、こうした教育に道を開くべきではないかと考え、先日、サンフランシ</p>	市長 及び 教育長 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
10	鈴木 幸司（12）	<p>スコ在住の榎本氏とZoomでつなぎ、教えを請うた。榎本氏からは、シリコンバレーで日本語での授業を受けながら英語も学び、アメリカの大学進学へとつなぐシリコンバレー・ジャパン・カレッジ・ショートタームプログラムや、アメリカの講義をオンラインで受講し、日本での高校生活の2年間で単位を取得することで、卒業後、公立の2年制カレッジであるサンマテオ大学へ無条件で入学できるIEP(Intensive English Program)の存在を教えられた。ほかにも現在、日本にいながらアメリカで働く様々な人の話をオンラインで聞くような授業を他県で行っているという話も伺った。</p> <p>以下、富士市立高校の置かれた現在の状況を伺いながら、今後取るべき方策について質問する。</p> <p>(1) 富士市立高校の特色である探究学習、その目指すところは何か。</p> <p>(2) 市立高校のホームページには総合探究科でハーバード大学等での研修を行ったとあるが、どのようなカリキュラムだったのか。</p> <p>(3) スポーツ探究科では、スポーツ選手のキャリア教育についてはどう教え、取り組んでいるのか。</p> <p>(4) ビジネス探究科を改め、広く海外に目を向け、グローバルビジネス探究科とすべきと考えるがいかがか。</p> <p>(5) 新高校10年目を迎えるに当たり、有識者会議を立ち上げ、昨年度までの2年間にわたって、4回の検証作業を行ってきたとあるが、その検証結果を伺う。</p>	市長 及び 教育長 担当部長